



石神井地域まちづくり情報紙

創刊20周年 特別記念号

かるがも便り

SPECIAL
82号

1月・4月・7月・10月の年4回発行

石神井まちづくりの会 代表 兼 編集者：下河秀行

デザイン・構成：西森由紀子

今号の記事内容

- 1面：地域情報紙【かるがも便り】創刊20周年を振り返る！
- 2面：【牧野富太郎生誕160年記念事業】について
- 3面：牧野記念庭園につき、同学芸委員にインタビュー。
- 4面：【かるがも便り創刊20周年】お祝いメッセージ…その①
- 5面：【かるがも便り創刊20周年】お祝いメッセージ…その②
- 6面：練馬の美術館シリーズ…ちひろ美術館展【ちひろのアトリエ】
- 7面：知られざる練馬の歴史シリーズその⑪ 歴史家 葛城明彦氏
- 8面：石神井まちづくりの会の主な活動、編集後記

地域情報紙【かるがも便り】創刊20周年を振り返る！

私たち、平成12年9月【石神井公園駅周辺地域まちづくり協議会】がスタートした時から、練馬区と協働で【かるがも便り】を計9号発行した。その後は、石神井まち協クラブ(現在、石神井まちづくりの会)として石神井の住みよいを目指して、改めて【かるがも便り】を平成14年7月の第1号として発行した。

それ以来【かるがも便り】は、春夏秋冬の年間4回発行を続けて、この度創刊20周年を迎えた。下河秀行

第1号～第82号



創刊以来かるがも便りで取り上げた記事！

第1号 西武池袋線石神井公園駅周辺(練馬高野台～大泉学園)の連続立体高架化事業について、これから先の具体化に付き、現状と将来について述べた。

第11号 計画されている駅前広場について、地域住民との話し合いで駅前広場は、青空広場がいいと提案をしていたが、行政は当初の予定通り高架下案を決定し、高架化の階高を高くして進められた。

第31号 練馬高野台～石神井公園駅の上りのみだが、2010年2月7日高架化事業の一部が完成し、待望の開通を特集し、地域住民の喜びを伝えた。

第41号 石神井公園駅南地域の建築物の高さや容積率、住宅の用途制限、敷地面積などの「地区計画」の都市計画決定したことを詳しく報道していた。

第51号 石神井公園の屋外ステージの完成に当たり、1億6000万円の改修工事費をかけて完成したのだから、もっと有効活用をして欲しいと伝えた。

第61号 「変貌を続ける石神井のまちづくり」について、新らしい地区計画、補助幹線道路232号、駅前再開発等について、その動向を伝えた。

第71号 4月26日練馬区の西の拠点 石神井公園一帯で、春の一大イベント「照姫まつり」が開催されていることと照姫まつりは、この年33回目を迎えた。

第81号 中村橋にある練馬区立美術館の再生について、秋元雄史館長にインタビューを行い、これから練馬区立美術館のあり方を問う。

お買い物は地元商店街で

パクロード

石神井



石神井公園商店街振興組合



公園スタンプ開催中

※詳しくはQRコードをスキャン

【牧野富太郎生誕160年記念事業】について

植物学研究博士 晩年は練馬大泉で過ごす

牧野富太郎博士は、文久2(1862)年に現在の高知県高岡郡佐川町に生まれた。ほぼ独学で植物の知識を身につけ、94年の生涯において収集した標本約40万点、蔵書は45,000冊を数えた。

1,500種類以上の植物を発見・命名し、日本の植物分類学の基礎を築いた一人として知られている。昭和15(1940)年に刊行された「牧野日本植物図鑑」は、現在まで改定を重ね、植物図鑑として広く親しまれている。大正15(1926)年に渋谷から東京府北豊島郡大泉村(現在の練馬区東大泉)に移り約30年間住み、昭和32(1957)年に永眠した。1951(昭和26)年に第一回文化功労者となり、没後文化勲章を授与された。



牧野富太郎博士 個人蔵

企画されている160年記念事業

記念事業① 令和4年度に特別展を4回開催。第1回は、「植物に彩られた我が人生 牧野富太郎が描いたアート絵本『まきのまきのレター』」(4月9日～6月19日)。

第2回は、「牧野富太郎と万葉集の植物」(7月23日～9月25日)。

第3回は、「牧野富太郎の植物研究—高知県立牧野植物園の資料より」(10月15日～12月18日)。

第4回は、巡回展「拝啓 牧野富太郎さんへの手紙」(2月11日～3月31日)。

記念事業② 牧野博士が名付け、庭に植え愛でていた“ヒメアジサイ”は、記念庭園では一度絶えていました。博士の次女鶴代氏が高知県立牧野植物園に贈り、系統保存されていたものを里帰りさせる記念植樹が昨年5月に行われ、梅雨の時期には美しい青い花を咲かせた。

記念事業③ 練馬区立牧野記念庭園書斎再現プロジェクト。牧野博士が研究に没頭し、足の踏み場のないほど蔵書が積み重ねられた当時の書斎の様子を再現し、熱き研究心を伝える。

牧野富太郎博士がNHK朝ドラに・・・

牧野博士をモデルとしたNHK朝の連続テレビ小説が令和5年春から約半年間放映されることになった。タイトルは「らんまん」。

主人公・横野万太郎(まきのまんたろう)を神木隆之介さん、主人公の妻となるヒロイン寿恵子(すえこ)を浜辺美波さんが演じる。朝ドラで牧野博士がどのように描かれるか、練馬区民の間で今から期待が高まっている。(下河秀行)

石神井公園 西友通り商店会 は、
西友の閉店撤退のため、
新商店会名を検討中です。
お買い物は、防犯カメラの設置された安全な加盟店36店で!

石神井公園
西友通り商店会



牧野富太郎博士ゆかりの牧野記念庭園で、伊藤千恵氏へインタビュー。

Q 1. 練馬区立牧野記念庭園とは

A. 牧野博士が大正15（1926）年から亡くなるまでの30余年を過ごした住居と庭の跡地です。博士は武蔵野の雑木林の中に、採集してきた植物などを植え、庭を「我が植物園」として大切に育んできました。現在でもスエコザサ、サクラ‘仙台屋’、ヘラノキなど博士にゆかりの深い植物を含め300種類以上が生育するほか、最晩年に使っていた書斎と書庫を保存・公開し（令和4年12月29日～令和5年4月上旬は書斎再現展示制作のため閉鎖中）、博士の在りし日の面影を今に伝えています。



Q 2. 牧野博士の植物に対する情熱は

A. 博士の発見・命名した植物が1,500種類以上にのぼることからも、その情熱は並々ならぬものだったことがわかるのではないかと思います。博士は沖縄を除く全国各地に調査に赴き、日本にどんな植物が生育しているのかを生涯をかけて丹念に調べています。日本国内で初めて学名をつけて発表したヤマトグサをはじめ、私たちに身近なケヤキやキンモクセイも牧野博士が命名している植物です。

Q 3. NHK朝ドラで注目している点は

A. 上記に挙げたように牧野博士は多くの植物の

発見・命名をしています。ドラマ内でそれらの植物がどのように描かれるのか注目しており、牧野記念庭園にある植物がドラマで登場してほしいと密かに楽しみにしております。また、牧野博士が恋女房という妻・壽衛との出会いが、ドラマの万太郎と寿恵子ではどのように描かれるのかも楽しみです。

Q 4. 生誕の高知県との連携は

A. 12月18日まで開催していた「牧野富太郎の植物研究-高知県立牧野植物園の資料より」では、高知県から植物図や蔵書などの貴重な資料を借用し展示了しました。2月11日からは巡回展「拝啓 牧野富太郎さんへの手紙」が高知の三会場を経て当園にやってきます。春からも連携して取り組んでいきたいと思います。

Q 5. 牧野記念庭園書斎再現について

A. 牧野博士が研究に没頭していた書斎は、足の踏み場もないほど蔵書が積み上げられ、机の上には愛用する道具や原稿が所狭しと置かれています。このプロジェクトでは「練馬みどり葉っぴい基金」で寄付を募り、当時の書斎の様子を再現し、博士の研究への情熱を伝えます。再現後の書斎は令和5年春に公開予定です。

Q 6. これから牧野記念庭園は

A. 平成22（2010）年のリニューアルから12年が経ち、来園者の皆様に支えられて、牧野博士や植物に関する展覧会を実施してきました。これからも植物画のコレクションを充実させ、博士の功績を伝える企画を行っていきたいです。そして、博士の面影の残る庭園を皆様に楽しんでもらえるよう努めていきたいです。（2面・3面の写真提供／練馬区）

● 診療科目 ●

- 内科
- 糖尿病内科
- リウマチ科
- 胃腸内科
- 循環器内科

菅原 医院

www.sugawara.or.jp

☎ 3996-3016

● 診療時間 ●

- | | |
|------|-----------------------------|
| ● 平日 | 午前9:00～12:30
午後3:30～7:00 |
| ● 土曜 | 午前9:00～12:00 |

休診日：水曜/日曜/祝日



練馬区石神井町3-9-16

地域情報紙【かるがも便り】創刊20周年に当って

【かるがも便り】創刊20周年 お祝いのご挨拶…その①

石神井公園商店街振興組合 理事長 小川美千江



創刊20周年おめでとうございます。

ひと口に20年と言っても、この町の移り変わりを余すことなく伝えていくことは、そして継続していくことは簡単なことではありません。この街は駅前再開発・補助幹線道路232号の問題など、いろいろな課題を抱えています。

これからも【かるがも便り】の情報を頼りにしています。

石神井公園 西友通り商店会 会長 松村 敏夫



「かるがも便り」創刊20周年おめでとうございます。まずこの20年間のたゆまぬ努力に敬意を表します。その間の企画、取材、製作、発刊への取組みを考え、大変な偉業ではないかと称えます。当初は街づくりへの提言などハード面から、最近はソフト面の文化関連へのシフトも感じられます。身近な問題が伝わる情報手段がネット中心に移行する中、「かるがも便り」による手近な情報紙として更なる充実を期待し、お祝いの言葉といたします。

石神井公園ふるさと文化館 館長 古橋千重子



「かるがも便り」創刊20周年、おめでとうございます。20年の長きにわたり、地域の皆様のために情報発信を続けてこられた会の皆様の熱意とご努力に心から敬意を表します。当館は開館以来、区民の皆様に親しまれる施設を目指して様々な面で支えていただいております。今後も皆様と共に石神井地域の発展のために努めてまいります。これからもよろしくお願ひ致します。

みどりのまちづくりセンター 所長 浅海 義治



この度「かるがも便り」が創刊20周年を迎えたことを、心からお祝い申し上げます。毎号の特集や工夫を凝らした記事をいつも興味深く拝読し、いろいろな地域情報にふれる機会を与えてくださっていることに大変感謝しております。まちづくりにとってまず大切なことは、まちの歴史や様々な動きを地域の人々の間で共有していくことですが、その役割を生活者の立場から長年続けてこられたことに敬意を表します。お身体を大切に、魅力的な紙面づくりをこれからも期待しております。

郷土史家 カルガモ便り特別執筆者 葛城 明彦



『かるがも便り』が創刊20周年を迎えたとの事、誠におめでとうございます。2010年春から、私も郷土史ページを執筆させて頂いていますが、記者を通じてこれまでには、さまざまな出会いがありました。以前には、掲載記事がきっかけとなって新事実が判明し、練馬区史の一部が書き換えられた事もあります。微力ではありますが今後も知られざる練馬の歴史とその面白さを多くの方々にお伝えていきたいと思っております。

石神井町和田町 会長 本橋 健吉郎

石神井、そして南田中、そして地域で楽しい情報を伝えてくださる「かるがも便り」発行20周年、誠におめでとうございます。身近な街を再発見する手助けをして頂き、街が変化して行くなかで伴う様々な問題を上手に対応して下さること、感謝申し上げます。「かるがも便り」が、これからも住人に愛され、末永く発行し続けると共に、下河秀行様の更なるご活躍をご祈念致しまして「発行20周年」のお祝いの言葉と致します。

冬の

円貨定期預金 金利優遇キャンペーン

2022年12月1日(木)~2023年1月31日(火)

三井住友信託銀行と初めてお取引を開始の上、

新たなご資金で以下の定期預金へ 1契約300万円 以上
お預け入れいただくと、定期預金の金利を優遇いたします。

既に当社とお取引のあるお客さまへの優遇金利および
本キャンペーンの詳細は、二次元バーコードよりご確認ください▶



三井住友信託銀行 石神井支店 0120-011-239



初めて 当社とお取引をされるお客さまへの優遇金利

新型定期預金(グッドセレクト(固定型))

2年

年0.25%
(税引後 年0.199%)

5年

年0.30%
(税引後 年0.239%)

東京都練馬区石神井町2丁目14番1号

ゆかりのある方々からのメッセージです

【かるがも便り】創刊 20 周年 お祝いのご挨拶…その②

練馬区議会議員 自由民主党 西山 きよたか



「かるがも便り」創刊20周年、誠におめでとうございます。私の幼い頃は、西武池袋線に乗るためには、踏切を渡り南口へ行きました。現在は、鉄道高架化事業が完了し、中央口・西口改札が開設され、駅舎も生まれ変わりました。

街づくりは現在も進行中です。「かるがも便り」では、駅周辺の美しい自然、歴史、行事の案内や、問題点などを指摘していただいております。

私は、下河代表と共に引き続き石神井公園駅周辺の魅力を発信して参ります。今後ともご指導ご鞭撻の程、よろしくお願ひ致します。

練馬区議会議員 公明党 薄井 民男



地域情報紙「かるがも便り」創刊20周年、誠におめでとうございます。石神井まちづくりの会が平成14年に立ち上がり、様々な地域の課題に取り組まれ、そして「かるがも便り」を通して長年にわたり地域の皆様に情報提供していただいております。

これまでの下河代表はじめ関係者の皆様のご努力に敬意と感謝を表させていただきます。

石神井地域は、心を通わせながら発展してきました。今後も魅力に満ち溢れた地域として発展していくことを願ってやみません。今後の更なるご活躍をお祈り申し上げます。

練馬区議会議員 日本共産党 有馬 豊



石地井まちづくりの会20周年おめでとうございます。いつも楽しく読ませてもらっています。私も区議になって20年ですが、その最初の仕事が石神井公園駅南口の交通広場のあり方をめぐる問題でした。区が設置したまちづくり協議会の意見が取り入

れられず、私も当時、協議会のみなさんに話を伺いに行き、色々とお知恵を授かったことを思い出します。以来、地域の情報紙【かるがも便り】を創刊し、様々な地域課題に取り組んで来られたことに心より敬意を表します。今後のさらなるご活躍を祈念します。

練馬区議会議員 略称：練馬会議 倉田 れいか



石神井まちづくりの会設立と地域情報紙かるがもの創刊 20 周年、誠におめでとうございます。石神井の地域情報を中心に、春夏秋冬の年4回の発行されてきた歴史と活動に心から敬意を表します。毎号の地域の情報を読み取させていただき、まちづくりの大切さを感じしております。貴会のように地域貢献できるよう、石神井公園駅周辺地域の更なる発展のために頑張ってまいりたいと考えております。貴会の更なるご発展とご活躍をお祈り申し上げます。

練馬区議会議員 インクルーシブな練馬をめざす会 やない 克子



かるがも便り創刊20周年おめでとうございます。年4回の発行を20年間継続してきた下河さんはじめ石神井まちづくりの会のみなさまのご尽力に敬意を表します。

四季折々の「かるがも便り」を楽しみに拝読しています。各号で取り上げられる地域課題や地域情報に加え、石神井公園地域にとどまらない練馬の歴史や文化、自然などの発信は読者の見聞を広げ、地域の魅力を再認識する機会になっていると思います。これからも充実した情報紙の発行を期待するとともに、貴会の益々のご活躍を祈念いたします。



サマンサクリニック



し
み
し
わ
脱毛

皮膚科
美容皮膚科

西武池袋線練馬高野台駅
北口より徒歩3分高架下

TEL 03-6913-1670
予約は2週間前より



くらし、えがく。 ちひろのアトリエ

2022年10月8日(土)~ 2023年1月15日(日)
会場:ちひろ美術館・東京 展示室1.2.3.4

いわさきちひろが22年間を過ごした練馬区下石神井の自宅の跡地に建つ、ちひろ美術館・東京。ここには、多くの絵が生まれ、日々のくらしが営まれたアトリエの、1972年当時のようすが再現されています。画机や本棚などの愛用の品々が遺されたアトリエからは、50年を経た今も、ちひろの人物像を偲ぶことができます。

【展示室1】 東京のアトリエの移り変わりを見ていきます



いわさきちひろ 屋根裏のアトリエで本を読む自画像 1947年頃



いわさきちひろ ストーブとふたりの子ども 1965年頃



いわさきちひろ 庭に出た寝巻き姿のアンナ
紙芝居『お月さまいくつ』(童心社)より 1958年



いわさきちひろ
小指をくちにあてる少女 1969年



アトリエで絵を描くいわさきちひろ 1967年



いわさきちひろ アトリエの自画像
『わたしのえほん』(新日本出版社)より 1968年

【展示室2】 信州のアトリエ・黒姫山荘を紹介します



いわさきちひろ
スキーをする少年 1969年

いわさきちひろ
ストーブに薪をくべる少女 1973年



黒姫山荘のアトリエで絵を描くいわさきちひろ 1971年

【展示室3・4】ちひろの1972年に焦点をあてます



ちひろ美術館・東京の復元アトリエ

公益財団法人いわさきちひろ記念事業団
ちひろ美術館・東京

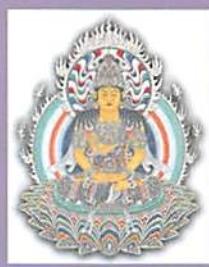
お問合せ ☎ 177-0042 東京都練馬区下石神井4-7-2 TEL03-3995-0612



いわさきちひろ 母の日 1972年

料金 大人1000円／高校生以下無料 団体(有料入館者10名以上)、65歳以上、学生の方は800円／障害者手帳ご提示の方とその介添えの方1名は無料／年間パスポート3000円

お客様にお過ごしいただけるよう、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため十分な措置を講じたうえで、開館しております。当面の間、開館時間を短縮しています。開館情報、会期、展示名、イベント内容などは予告なく変更する可能性があります。



～地域文化の交流点～ 観蔵院曼荼羅美術館

開館時間/土・日曜日 10:00 ~ 16:00

東京都練馬区南田中4-15-24

TEL3996-6858 FAX3996-6878

<https://kanzouin.wixsite.com/mandala>



【知られざる練馬の歴史シリーズ⑪】 石神井公園・水辺観察園の「ワニ騒動」

1993(平成5)年春頃、石神井公園・三宝寺池北側の水辺観察園(=新池)では、「ワニらしき動物がいる」との噂が一部で流れ始めた。同年7月29日に石神井公園管理事務所職員が自然観察グループからこの話を聞きつけ、調査を行うと、5月11日と前年9月、4月下旬等で「体長50~90センチほど」のワニの目撃情報が3件確認された。



▲「ワニ騒動」が起きた水辺観察園

都は「ペットとして飼えなくなったワニが放されたのではないか」とみて、8月2日から監視を開始し、翌日には日光浴をする習性のあるワニを誘い出すためのイカダ4基と鉄線柵を設置、6日にはマスコミに向けて正式発表を行った。

7日各新聞朝刊でこのニュースが報じられると、池周辺には数百人の見物客が押し寄せ、連日に亘る大騒ぎとなった。都は9日に注意を呼び掛ける看板も設置し、9月2日からはイカダを3基増設、その下や木橋の下にはワニの好物である馬肉をメッシュの袋に入れ4か所で垂らした。

しかし、その後もワニは一向に姿を現さなかった。ワニは変温動物で気温低下とともに活動が鈍り、「越冬は不可能」との説もあったため、都は10月21日には「終結宣言」を出し、翌年6月18日には完全に警戒態勢も解いた。

なお、これと前後して事件発生の翌年4月には、区内貫井5丁目の石神井川で体長約1.6メートルのワニの死骸が発見されたことがあったが、結局大きさや周囲の状況から池のワニとは無関係とされている。

騒動は、次第に忘れ去られる形で終息し、また発生の翌年4~5月頃には、水辺観察園でワニガメ(またはカミツキガメ)が捕獲されたことから、関係者間では「誤認説」が有力となっていた。

当時、この騒動に興味を持って現場にも足を運んでいた絵本作家・小風さちは、のちにこの話を元に、画家の山口マオと絵本「わにわにのおふろ」を創作、これは2000(平成12)年6月に福音館書店から出版されて大ヒットとなり、その後シリーズ化でさらに4作品が刊行された。なお、2021(令和3)年1月には石神井公園ふるさと文化館でも、これをテーマとした特別展「こわい? こわくない? わにわにの絵本展—石神井公園生まれのワニのおはなし」が開催されている。

結局、『幻』のままで終わったワニ騒動だったが、実は今年(2022=令和4年)3月には意外な事が判明することになった。当時、石神井公園近くに居住(現在は他県に転居)していた某氏が、事務所の水槽で飼い切れなくなったワニを、事件前に三宝寺池でこっそり放していたことが明らかとなったのである。直後から大騒ぎとなったため、某氏は名乗り出ることもなく、これはその後も「仲間うちだけの話」となっていたと



▲ 当時設置された、注意を促す看板
(石神井公園ふるさと文化館蔵)

いう。騒動からもすでに29年。
2020(令和3)年には石神井池で「かいぼり」が実施され、いずれは三宝寺池でも行われるとの話もある

が、『消えた』ワニの死骸は、ひょっとしたらその時、思いもよらない場所で発見されるのかもしれない。

文：葛城明彦



お葬儀に関する事なら何でもお相談ください

24時間
安心ダイヤル



ヨイセレモニー
0120-41-7062

■本社：練馬区上石神井4-9-24 TEL:03-3929-1040 ■営業所：東大泉
■サロン：大泉学園町店・大泉学園駅前店

マキノ祭典

検索

石神井まちづくりの会は、地域に密着したニュースの地域情報紙【かるがも便り】春夏秋冬の年4回発行や、【石神井再発見ウォーク】の開催、【石神井公園ガイドマップ】の発行などを毎年行っている。

小さな陳情で、快適な歩道が実現

石神井まちづくりの会は、令和3年3月石神井公園駅南地区の補助幹線道路132号線(駅南口～石神井公園ボート池間)の開通したことによって交通量が急激に増大したため、和田稻荷神社～和田堀公園へ下る道路が極めて狭隘で急な坂道であり、その改善を練馬区に強く陳情していた。この間は歩道もなく非常に危険だったが、その対策として沿道地権者のご協力で幅広い歩道が新設されて快適な歩道が実現した。南田中ほか、地域住民に大変喜ばれている。

石神井再発見ウォーク

石神井まちづくりの会は、毎年6月に練馬区民を対象にした石神井公園地域の【再発見ウォーク】を開催している。昨年も令和4年6月に、～知られざる石神井公園の歴史～をテーマにして実施し、26名の参加者があった。参加者の皆さんには、古くは江戸時代

編 集

石神井まちづくりの会が発行している地域情報紙【かるがも便り】は、お陰様でこの度創刊20周年を迎えることが出来た。ひと口に20年と言いますが休まずに続けていくことは大変なことである。平成14年7月の第1号を発行してから今号で82号を数えた。その創刊20周年記念号は、1面には創刊20周年のHISTORYを。2面と3面は練馬に長年在住された植物学者牧野富



から、明治・昭和・平成・令和と続く、それぞれの時代を見つめた「石神井公園再発見ウォーク」が開催されて、講師の話に熱心に耳を傾けておられた。

石神井公園ガイドマップの発行

石神井公園は、武蔵野の面影を残したみどり豊かな都立公園で三宝寺池と石神井池に分かれしており、中でも三宝寺池は吉祥寺の井之頭池、杉並区の善福寺池とともに三大湧水で有名であった。

また石神井城址は江戸城主太田道灌と豊島泰経の戦いでも有名で、その伝説として「照姫まつり」は、年中行事として4月下旬に盛大に行われている。これらの歴史と文化を石神井公園ガイドマップとして既に4版を発行している。



後 記

太郎博士の記事を特集した。4面と5面は創刊20周年お祝いの言葉をいただいた。6面は、ちひろ美術館・東京の展示記事を。7面は「練馬の知られざる歴史」記事を連載しており、8面は当会が毎年恒例行事として行っているイベント関係を集めた。

【かるがも便り】は、これからも皆様に地域情報を伝え続けていきたいと思っています。（下河秀行）

サミットが日本のスーパー・マーケットを楽しくする



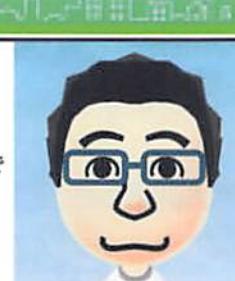
サミットストア

石神井公園店

練馬区石神井町 2-12-21

☎ 03-5923-7360

営業時間 9:00～23:00



～お知らせ～

当院では、**歯科訪問診療**を行っています

クリーニングから、入れ歯の製作・調整、虫歯・歯周病まで

ご家庭や施設など限られた環境でも

経験豊富で心優しい訪問診療の専門医がしっかり対応

みなさまの「食べる、笑う、話す」をサポートします

院長 清水 雄一郎

どんなお悩みにも温かく対応します お気軽にお問い合わせください

	Shimizu Dental Clinic
シミズ デンタル クリニック	
歯科・小児歯科・矯正歯科・歯科口腔外科	
練馬区 石神井町 3-17-15 KYビル1階 石神井パークロード商店街 銀座通り	
診療時間 9:00～18:00 月曜～土曜 お休み 13:00～14:00 日曜 祝祭日 年末年始 休診	
03-6913-3517	
https://firstmolar.jp/	

石 神 井
まちづくりの会

ご意見等は、**電郵**&FAX、又は左下の e-mail へ送信してください。

TEL & FAX 03-5393-7381 携帯 080-6607-4321

【かるがも便り】は、区民交流センター・石神井庁舎・え～る・練馬区内12の図書館・ふるさと文化館・勤福会館等にあります。